

電子式線量計による測定マニュアル

1 用語について

本マニュアル中で使用する技術上の用語は「放射能測定シリーズ 27 蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線量測定法」（平成 14 年 文部科学省制定）に準ずる。

2 本マニュアル中の「確認事項」欄に記載された項目は別紙「作業日報」に時刻とともに記録する。ただし、文頭に【写真】とあるものは写真にて記録する。

3 電子式線量計設置回収業務

【1日目】

(1) 電子式線量計のセット、パッケージング

作業内容	記録事項
(1) 電子式線量計の台数、傷・汚れ等を確認する。	
<p>ア 電子式線量計の地点名と製造番号が一致していることを別紙「電子式線量計台帳」を用いて複数人でチェックしながら確認する。</p> <p>イ 電子式線量計を指示機に挿入し、指示値を複数人でチェックしながら別紙「電子式線量計台帳」に記入する。</p> <p style="padding-left: 2em;">D シャトルの動作、地点名、S/Nを確認し、電子式線量計台帳に記入する。</p>	
	
(2) 電子式線量計を密封する。	
<p>ア 電子式線量計をチャック付きポリ袋に入れ、チャックをする。</p>	パッケージの開始
	

イ 各地点のタッパーに電子式線量計（1 つ）を、タッパーの表面にある矢印のシールの向きに電子式線量計の丸い部分が向くように入れる。



ウ タッパーの蓋を閉めて密封する。蓋に白色ビニールテープを貼付け、年度を油性サインペンで記入する。油性サインペンの色については、奇数年度は黒、偶数年度は赤を使用する。



エ タッパーの蓋に表示している測定地点名、電子式線量計上面の地点名を写真撮影して記録する。

【写真】

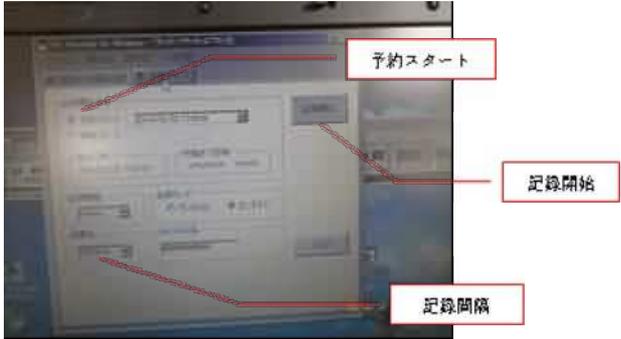


※ タッパーの蓋越しの撮影で文字の判読が難しい場合、蓋の測定地点名とタッパーの中の電子式線量計側面の地点名を一枚の写真に撮影して記録する。

(2) 積算温度計のセット、パッケージング

作業内容	記録事項
(1) 積算温度計の設定を行い密封する。	

<p>ア 本体に電池を写真のようにセットする。</p> 	<p>作業の開始</p>
<p>イ ケーブルとアダプタをノート PC にセットし、T&D Recorder for Windows を実行する。PC の時計を合わせる。</p> <p>ウ 積算温度計 (TR51A、TR51i) をセットする。</p> 	
<p>エ 積算温度計に合わせて、「TR51A/52」又は「TR51i/52i」のアイコンをクリックする。</p> <p>→記録計スタート (S) をクリックする。</p> 	
<p>オ 「記録間隔」を 10min. に設定 (以降、ずっと設定が保持)</p> <p>カ 「予約スタート」の日時を、設置日の 08 時 00 分に設定。</p> <p>キ 「記録開始」をクリックする。</p> <p>ク 積算温度計の液晶画面に「REC」が点滅して、予約が完了したことを確認する。</p>	

	
<p>ケ 全ての地点の積算の温度計を時間設定したら、それぞれポリ袋に入れてシーラーでとじる。</p> 	

(3) 配置のための準備

作業内容	記録事項
<p>(1) 測定地点ごとに機器類をまとめて包装し、翌日回収・配置作業を行う班ごとに分ける。</p> <p>さらに翌日使用するサーベイメータ等を準備する。</p>	
<p>ア 電子式線量計と積算線量計を地点毎のポリ袋に入れ、袋の口を縛る。</p> <p>ポリ袋に入れた状態で、電子式線量計の地点名が同じ画面に映りこむよう写真に記録する。</p> 	<p>作業の開始</p> <p>【写真】ポリ袋に入れた状況</p>
<p>イ ポリ袋にまとめた線量計等を、各班が担当する測定地点に従い班ごとに買い物かごに分ける。</p>	
<p>ウ サーベイメータ等の準備</p>	

<p>以下の資機材を班ごとに準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) シンチレーションサーベイメータ (TCS-1172) (イ) D-シャトル (予備機) (ウ) 乾電池 (サーベイメータ用：単三×8本) (エ) 収納箱の鍵 (オ) 電子式線量計調査票 (カ) デジタルカメラ (キ) 油性サインペン (黒・赤) (ク) ボールペン (ケ) 電子式線量計による測定マニュアル (コ) ビニールテープ (サ) 養生テープ (シ) ハサミ (ス) 電子式線量計測定地点台帳 (セ) ゴム手袋 (ソ) 測量ポール (1m) (タ) ポリ袋 (70L、16号) (チ) チャック袋 (2号) (ツ) D-シャトル用表示機 (テ) 個人被ばく線量計 (PDM-122-SHC など) (ト) アルコールティッシュ 	
--	--

【2日目】

(1) 電子式線量計・積算温度計の回収、配置

作業内容	記録事項
(1) 準備物の確認	
ア 別紙「班別電子式線量計調査票」及び別紙「電子式線量計 配置・回収業務 準備物確認表」と照らし合わせ正しく分けられているかを複数人で確認する。	
イ 確認後、別紙「班別電子式線量計調査票」の「班分け確認者」欄に署名する。	
ウ 個人被ばく線量計を着用する。	
(2) 前日準備した線量計等とサーベイメータ等を携行し、電子式線量計、積算温度計の配置・回収を行う。 6ブロックをそれぞれ1班が担当し、収納箱内の電子式線量計、積算温度計を回収した後、前日に準備した電子式線量計、積算温度計を配置する。	

ア 線量計等を配置する際は、なかの線量計等を収納箱内に配置する。



文字が逆さまや横になった状態で配置しないこと。
線量計は箱の底に配置し、地面からの放射線を遮蔽しないこと。
積算温度計はタッパーの上に配置することとし、タッパーに貼っている矢印のシールが箱内部を向くように配置する。

イ 収納箱の外観（遠景・近景）、配置状態を写真に記録する。

その際、画面に日付・時刻が表示されるように設定し、線量計等にかかれた年度、地点名が映りこむように撮影を行う。

また、近景を撮影する時は、収納箱に掲示された地点名が判読できるように撮影する。

【写真】



遠景



近景



配置状況



※ 配置する際に収納箱の蓋が閉まらない場合にはタッパーを少し持ち上げながら閉めると良い。

<p>ウ 配置・回収の際は、配置時刻、回収時刻、回収時温度を別紙「班別電子式線量計調査票」に記録する。</p> <p>回収終了後、測定地点の空間線量率（地上 1m）をサーベイメータで測定（電源を入れ時定数 10 秒に設定してから 30 秒以上待ち、指示値が安定してから 10 秒毎に 5 回指示値を読み取り平均をとる）し、別紙「班別電子式線量計調査票」に記録する。</p>	
<p>エ 回収及び設置する際、D-シャトル用表示機により指示値を表示させ、別紙「班別電子式線量計調査票」に記録する。</p> <p>※読取り作業の前後に線量計等を除染し、作業は養生の上で行う。</p> <p>また、表示画面を数値が判読できるように写真撮影する。</p> <div data-bbox="288 772 718 1019"> </div> <div data-bbox="288 1052 718 1288"> </div>	<p>【写真】</p>
<p>オ 回収した電子式線量計、積算温度計は一つのポリ袋にまとめておく。</p>	
<p>カ 収納箱及び周辺の状態について、異常の有無を別紙「班別電子式線量計調査票」に記録し、写真に記録する。異常が認められた場合は、「備考」の欄にその内容を記載する。</p> <p>その場に対応可能であると思われる場合は、発注者に連絡し協議したうえで対応する。対応の内容も備考欄に記載する。</p>	<p>収納箱の異常の有無、対応内容（必要に応じて）</p> <p>【写真】 収納箱及び周辺の異常</p>
<p>キ 各班が担当する地点の配置・回収がすべて終了した時点で、回収漏れがないか複数人で確認する。</p> <p>確認後、別紙班別電子式線量計調査票の「回収確認者」に署名する。</p>	
<p>ク 回収漏れのないことが確認できたら、環境放射線センター（南相馬市）に戻る。</p>	

<p>ケ 環境放射線センター（南相馬市）に戻ったら、回収した電子式線量計、積算温度計をポリ袋にまとめて入れた状態でGMサーベイメータ(TGS-1146)により測定し、300cpm 以下であることを確認して環境放射線センターの作業室に運び入れ、翌日の読み取りまで一時保管する。</p> <p>北西部の班は帰着後、運搬時被ばく用の電子式線量計を読み取る。</p>	<p>環境放射線センターへの到着 調査票記載内容の確認 作業の終了</p>
---	---

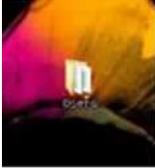
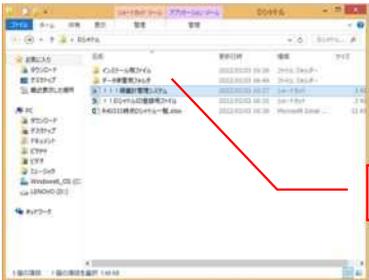
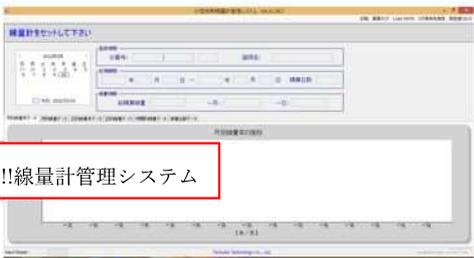
(2) 開封作業

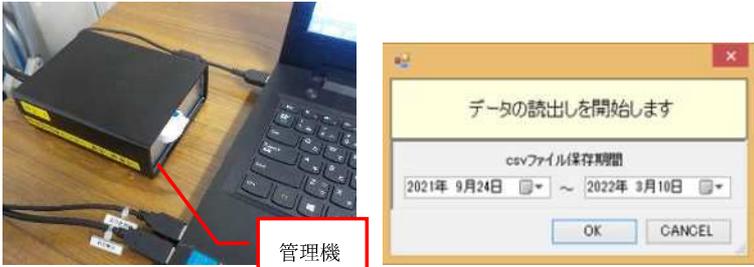
作業内容	確認事項
(1) 環境放射線センター1 階にある作業室に回収した電子式線量計、積算温度計を運び、そこで開封作業を行う。	
<p>ア 作業前に次のものを準備する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り畳み式コンテナ（タッパー回収用） ・ビニール袋で養生した買い物かご（3つ） ・ハサミ ・エタノールをしみこませたキムタオル ・シンチレーションサーベイメータ（TCS-1172） ・ゴミ袋 	
<p>イ 開封作業前に、室内の空間線量をシンチレーションサーベイメータ（TCS-1172）で測定、別紙作業日報に記録する。（時定数 10 秒、30 秒以上待って指示値が安定したら 10 秒間隔で 5 回）</p>	空間線量 (μ Sv/h)
<p>ウ 次のものをそれぞれ別の養生した買い物かごに入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子式線量計 ・積算温度計 	作業の開始
<p>(ア) 電子式線量計は、タッパーから取り出し、ポリ袋を開けて電子式線量計を取り出し、養生した買い物かごに入れる。 （汚染防止のため買い物かごは、最も外側の袋類は入れない。） 積算温度計は、ハサミでポリ袋を切り開き、なかの積算温度計を養生した買い物かごに入れる。 タッパーはエタノールを染み込ませたキムタオルで拭いて折り畳み式コンテナに回収する。</p>	
(イ) ポリ袋はゴミ袋にまとめる。	
<p>エ 開封作業終了後、室内の空間線量をシンチレーションサーベイメータ（TCS-1172）で測定し、記録用紙に記録する。（時定数 10 秒、30 秒以上待って指示値が安定したら 10 秒間隔で 5 回）</p>	<p>作業の終了 空間線量 (μ Sv/h)</p>

作業前後で線量に大きな変動がないことを確認する。	
オ タッパー、積算温度計、電子式線量計を1階のRPLD計測室に移す。	

【3日目】

(1) 電子式線量計のデータ取りまとめ (トレンド保存含む)

作業内容	確認事項
(1) 別紙「班別電子式線量計調査票」に記録した配置時刻、回収時刻、回収時温度、回収時線量率 (空間・箱内)、気温 (最高・最低・平均)、指示値を「測定結果転記.xlsx」の所定欄に転記する。転記後、相違ないかどうか複数人で確認すること。	
(2) 電子式線量計の測定値 (トレンド) をノート PC (Lenovo G50-70) に保存する。	
ア ノート PC (Lenovo G50-70) を起動し、デスクトップ上にある「Dシャトル」を開く。  	
イ フォルダ内の「!!!線量計管理システム」を開く。 (管理機の操作ウィンドウが表示される。)  	
ウ 「ログ保存先指定」を選択し、読み取りデータの保存先を当該四半期フォルダとする。	

<p>エ 電子式線量計を管理機に差し込むと、csv ファイルとして保存する測定期間が問われるので選択する。</p> <p>測定期間は電子式線量計を測定地点に設置した日からデータの取りまとめを実施している日までとすること。</p> 	
<p>オ 読み取りが完了すると、先に指定した場所にデータが保存される。</p> <p>ファイル名は、「〇〇_△△×」と名前を付け、「〇〇」は機器の型番、「△」は地点名、「×」は番号を記すこと。</p> <p>例)「6M0521_川房①」</p>	

(2) 積算線量計 (TR-51A、TR-51i) の読み取り

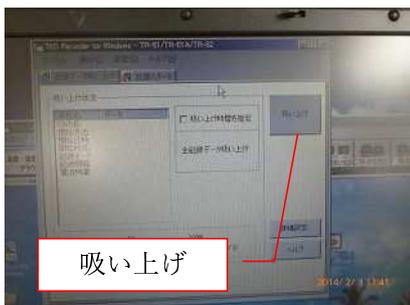
作業内容	記録事項
<p>(1) 積算温度計のセットしたときと同様にノート PC (NEC VersaPro)、T&D Recorder for Windows を起動。</p> 	読み取り作業の開始
<p>(2) USB ポートに接続されたコネクタに積算温度計をセットする。</p> 	

(3) 積算温度計に合わせて、「TR51A/52」または「TR51i/52i」のアイコンをクリックする。

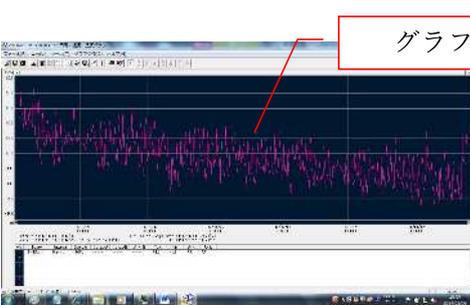


アイコン

(4) 「吸い上げ」をクリックする。
 → 通信は、正常終了しました。→ OK
 → 終了
 その後、グラフ表示されることを確認する。

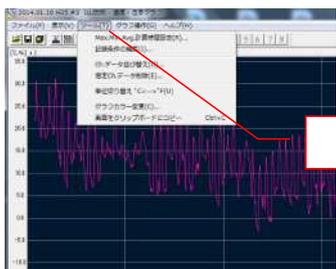


吸い上げ

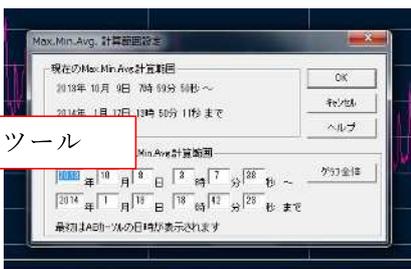


グラフ

(5) ツール (T) → Max, Min, Avg (R) を選択
 → 設置日の 8 時 00 分から回収日の回収時刻で設定。
 → OK



ツール



(6) ファイル (F) - 全データを保存 (A) をクリックし、ファイル名 (N) を次のように付け、ハードディスク に保存する。
 「R〇〇 # △ 積算温度計」という名前のフォルダをデスクトップに作成し、そのなかにファイルを保存する。「〇〇」には和暦年号を記し、「△」には四半期を記す。

例 「令和 8 年度第一四半期 積算温度計」

「R 8 # 1 積算温度計」

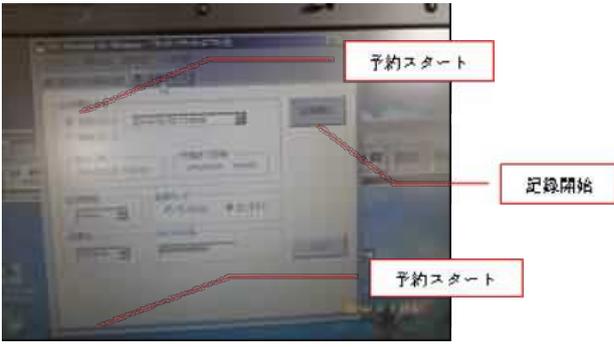
<p>ファイル名は「(西暦年月日) □ (和暦年号) (四半期) □ (地点 No.) (地点名)」とする。地点 No.には別紙「空間積算線量測定地点一覧」の No.を用いる。□は一文字分のスペースを表す。</p> <p>例 「2026年7月9日回収 令和8年度第1四半期分 夫沢」 「2026.07.09 R8#1 33 夫沢」</p> <p>※ファイル名のつけ方は統一すること。</p>	
<p>(7) ファイル (F) -全データをテキスト出力 (T)をクリックし、同様にハードディスクに保存する。 OK</p> <p>(6) と同じフォルダに保存し、ファイル名は上記(6)と同様にする。</p>	
<p>(8) 「ツール」の計算範囲で、時間範囲を実際に設置されていた時間に絞る。全ての積算温度計で、配置日の配置時刻～回収日の回収時刻の間の数値のみを選択してグラフを出す。この画面もプリントスクリーンで保存しておく。</p> <p>(6) と同じフォルダに保存し、ファイル名は上記(6)と同様にする。</p> <p>※プリントスクリーン後にファイル名を変更した場合は、再度プリントスクリーンをとり直すこと。</p>	
<p>(9) 各地点の最高温度、最低温度をデータ入力する。</p>	
<p>(10) 別紙「空間積算線量測定地点一覧」と照らし合わせ、積算温度計を配置している全地点データを保存したか確認する。</p> <p>確認後、別紙「空間積算線量測定地点一覧」に署名する。</p>	<p>名称、設置・回収時間等に入力間違いがないか確認</p> <p>読み取り作業終了</p>

4 電子式線量計測定業務

【1日目】

(1) 積算温度計のセット、パッケージング

作業内容	記録事項
(1) 積算温度計の設定を行い密封する。	
<p>ア 本体に電池を写真のようにセットする。</p> 	作業の開始
<p>イ ケーブルとアダプタをノート PC にセットし、T&D Recorder for Windows を実行する。PC の時計を合わせる。</p> <p>ウ 積算温度計 (TR51A、TR51i) をセットする。</p> 	
<p>エ 積算温度計に合わせて、「TR51A/52」又は「TR51i/52i」のアイコンをクリックする。</p> <p>→記録計スタート (S) をクリックする。</p> 	
<p>オ 「記録間隔」を 10min. に設定 (以降、ずっと設定が保持)</p> <p>カ 「予約スタート」の日時を、設置日の 08 時 00 分に設定。</p> <p>キ 「記録開始」をクリックする。</p> <p>ク 積算温度計の液晶画面に「REC」が点滅して、予約が完了したことを確認する。</p>	

	
<p>ケ 全ての地点の積算の温度計を時間設定したら、それぞれポリ袋に入れてシーラーでとじる。</p> 	

(2) 配置のための準備

作業内容	記録事項
<p>(1) 積算温度計を各班が担当する測定地点に従い班ごとに買い物かごに分ける。</p>	
<p>(2) サーベイメータ等の準備 以下の資機材を班ごとに準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) シンチレーションサーベイメータ (TCS-1172) (イ) D-シャトル (予備機) (ウ) 乾電池 (サーベイメータ用：単三×8本) (エ) 収納箱の鍵 (オ) 電子式線量計調査票 (カ) デジタルカメラ (キ) 油性サインペン (黒・赤) (ク) ボールペン (ケ) 電子式線量計による測定マニュアル (コ) ビニールテープ (サ) 養生テープ 	

(シ) ハサミ (ス) 電子式線量計測定地点台帳 (セ) ゴム手袋 (ソ) 測量ポール (1m) (タ) ポリ袋 (70L、16号) (チ) チャック袋 (2号) (ツ) D-シャトル用表示機 (テ) 個人被ばく線量計 (PDM-122-SHC など) (ト) アルコールティッシュ	
---	--

【2日目】

(1) 電子式線量計の読み取り、積算温度計の回収・配置

作業内容	記録事項
(1) 準備物の確認	
ア 別紙「班別電子式線量計調査票」及び別紙「電子式線量計 配置・回収業務 準備物確認表」と照らし合わせ正しく分けられているかを複数人で確認する。	
イ 確認後、別紙「班別電子式線量計調査票」の「班分け確認者」欄に署名する。	
ウ 個人被ばく線量計を着用する。	
(2) 前日準備した積算線量計とサーベイメータ等を携行し、電子式線量計の読み取り、積算温度計の配置・回収を行う。 6ブロックをそれぞれ1班が担当し、収納箱内の電子式線量計の読み取り及び積算温度計を回収した後、前日に準備した積算温度計を配置する。	
ア 積算線量計を配置するときは、なかの線量計等を収納箱内に配置する。  文字が逆さまや横になった状態で配置しないこと。 線量計は箱の底に配置し、地面からの放射線を遮蔽していないことを確認する。積算温度計はタッパーの上に配置することとし、タッパーに貼っている矢印のシールが箱内部を向くように配置すること。	

<p>イ 収納箱の外観（遠景・近景）、配置状態を写真に記録する。</p> <p>その際、画面に日付・時刻が表示されるように設定し、線量計等にかかれた年度、地点名が映りこむように撮影を行う。</p> <p>また、近景を撮影する時は、収納箱に掲示された地点名が判読できるように撮影する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>遠景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>近景</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>配置状況</p> </div> <p>※配置する際に収納箱の蓋が閉まらない場合にはタッパーを少し持ち上げながらしめると良い。</p>	<p>【写真】</p>
<p>ウ 電子式線量計の読み取りの際、読み取り時刻、読み取り時温度を別紙「班別電子式線量計調査票」に記録する。</p> <p>読み取り終了後、測定地点の空間線量率（地上 1m）をサーベイメータで測定（電源を入れ時定数 10 秒に設定してから 30 秒以上待ち、指示値が安定してから 10 秒毎に 5 回指示値を読み取り平均をとる）し、別紙「班別電子式線量計調査票」に記録する。</p>	
<p>エ 電子式線量計の読み取りにあたっては、D-シャトル用表示機により指示値を表示させ、別紙「班別電子式線量計調査票」に記録する。</p> <p>※読み取り作業の前後に線量計等を除染し、作業は養生の上で行う。</p> <p>また、表示画面を数値が判読できるように写真撮影する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>読み取る指示値</p> </div> </div>	<p>【写真】</p>
<p>オ 回収した積算温度計は一つのポリ袋にまとめておく。</p>	

<p>カ 収納箱及び周辺の状態について、異常の有無を別紙「班別電子式線量計調査票」に記録し、写真に記録する。異常が認められた場合は、「備考」の欄にその内容を記載する。</p> <p>その場で対応可能であると思われる場合は、発注者に連絡し協議したうえで対応する。対応の内容も備考欄に記載する。</p>	<p>収納箱の異常の有無、対応内容 (必要に応じて) 【写真】 収納箱及び周辺の異常</p>
<p>キ 各班が担当する地点の配置・回収がすべて終了した時点で、回収漏れがないか複数人で確認する。</p> <p>確認後、別紙班別電子式線量計調査票の「回収確認者」に署名する。</p>	
<p>ク 回収漏れのないことが確認できたら、環境放射線センター（南相馬市）に戻る。</p>	
<p>ケ 環境放射線センター（南相馬市）に戻ったら、回収した積算温度計をポリ袋にまとめて入れた状態で GM サーベイメータ（TGS-1146）により測定し、300cpm 以下であること確認して環境放射線センターの作業室に運び入れ、翌日の読み取りまで一時保管する。</p> <p>北西部の班は帰着後、運搬時被ばく用の電子式線量計を読み取る。</p>	<p>環境放射線センターへの到着 調査票記載内容の確認 作業の終了</p>

(2) 開封作業

作業内容	確認事項
(1) 環境放射線センター1 階にある作業室に回収した積算温度計を運び、そこで開封作業を行う。	
<p>ア 作業前に次のものを準備する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニール袋で養生した買い物かご（1つ） ・ハサミ ・シンチレーションサーベイメータ（TCS-1172） ・ゴミ袋 	
<p>イ 開封作業前に、室内の空間線量をシンチレーションサーベイメータ（TCS-1172）で測定、別紙作業日報に記録する。（時定数 10 秒、30 秒以上待って指示値が安定したら 10 秒間隔で 5 回）</p>	空間線量 (μ Sv/h)
<p>ウ 積算温度計を養生した買い物かごに入れる。</p>	作業の開始
<p>(ア) 積算温度計は、ハサミでポリ袋を切り開き、なかの積算温度計を養生した買い物かごに入れる。</p>	
<p>(イ) ポリ袋はゴミ袋にまとめる。</p>	
<p>エ 開封作業終了後、室内の空間線量をシンチレーションサーベイメータ（TCS-1172）で測定し、記録用紙に記録する。（時定数 10 秒、30 秒以上待って指示値が安定したら 10 秒間隔で 5 回）</p>	<p>作業の終了 空間線量 (μ Sv/h)</p>

作業前後で線量に大きな変動がないことを確認する。	
オ 積算温度計を1階のRPLD計測室に移す。	

【3日目】

(1) 電子式線量計のデータ取りまとめ

作業内容	確認事項
(1) 別紙「班別電子式線量計調査票」に記録した配置時刻、回収時刻、回収時温度、回収時線量率（空間・箱内）、気温（最高・最低・平均）、指示値を「測定結果転記.xlsx」の所定欄に転記する。転記後、相違ないかどうか複数人で確認すること。	

(2) 積算線量計（TR-51A、TR-51i）の読み取り

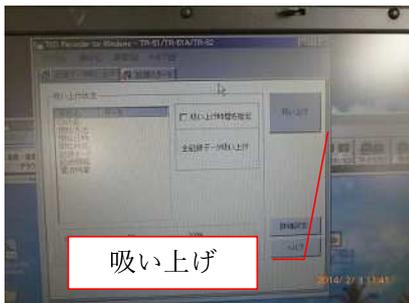
作業内容	記録事項
<p>(1) 積算温度計のセットしたときと同様にノート PC（NEC VersaPro）、T&D Recorder for Windows を起動。</p>  <p style="text-align: center;">T&D Recorder for Windows</p>	読み取り作業開始
<p>(2) USB ポートに接続されたコネクタに積算温度計をセットする。</p>  <p style="text-align: center;">コネクタ</p>	

(3) 積算温度計に合わせて、「TR51A/52」または「TR51i/52i」のアイコンをクリックする。

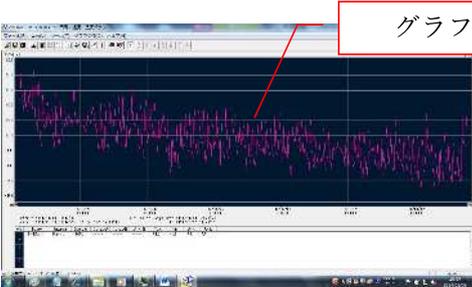


アイコン

(4) 「吸い上げ」をクリックする。
 → 通信は、正常終了しました。→ OK
 → 終了
 その後、グラフ表示されることを確認する。

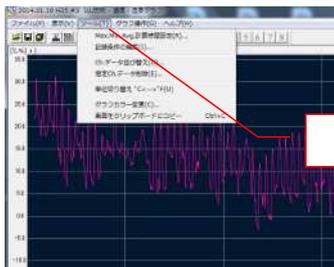


吸い上げ

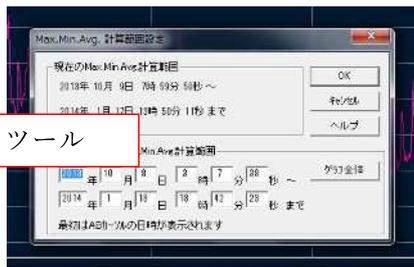


グラフ

(5) ツール (T) → Max, Min, Avg (R) を選択
 → 設置日の 8 時 00 分から回収日の回収時刻で設定。
 → OK



ツール



(6) ファイル (F) - 全データを保存 (A) をクリックし、ファイル名 (N) を次のように付け、ハードディスク に保存する。
 「R〇〇 # △ 積算温度計」という名前のフォルダをデスクトップに作成し、そのなかにファイルを保存する。「〇〇」には和暦年号を記し、「△」には四半期を記す。

例 「令和 8 年度第一四半期 積算温度計」

「R 8 # 1 積算温度計」

<p>ファイル名は「(西暦年月日) □ (和暦年号) (四半期) □ (地点 No.) (地点名)」とする。地点 No.には別紙「空間積算線量測定地点一覧」の No.を用いる。□は一文字分のスペースを表す。</p> <p>例 「2026年7月9日回収 令和8年度第1四半期分 夫沢」 「2026.07.09 R8#1 33 夫沢」</p> <p>※ファイル名のつけ方は統一すること。</p>	
<p>(7) ファイル (F) - 全データをテキスト出力 (T) をクリックし、同様にハードディスクに保存する。 OK</p> <p>(6) と同じフォルダに保存し、ファイル名は上記(6)と同様にする。</p>	
<p>(8) 「ツール」の計算範囲で、時間範囲を実際に設置されていた時間に絞る。全ての積算温度計で、配置日の配置時刻～回収日の回収時刻の間の数値のみを選択してグラフを出す。この画面もプリントスクリーンで保存しておく。</p> <p>(6) と同じフォルダに保存し、ファイル名は上記(6)と同様にする。</p> <p>※プリントスクリーン後にファイル名を変更した場合は、再度プリントスクリーンをとり直すこと。</p>	
<p>(9) 別紙「空間積算線量測定地点一覧」と照らし合わせ、積算温度計を配置している全地点データを保存したか確認する。</p> <p>確認後、別紙「空間積算線量測定地点一覧」に署名する。</p>	<p>名称、設置・回収時間等に入力間違いがないか確認 読み取り作業終了</p>

別紙 令和8年度空間積算線量測定地点一覧

No.	地点の名称	所在地	施設名等	年度当初に配置されている機器		東電 CC	ブロック	備考
				温度計	電子式線量計			
1	いわき市 石森	いわき市平四ツ波字石森	フラワーセンター	○	○		南部	
2	いわき市 四倉	いわき市四倉町上仁井田字横川	楽寿荘	○	○		南部	
3	いわき市 大野（いわき）	いわき市四倉町玉山字林崎	大野公民館	○	○		南部	R7年4月から移設。
4	いわき市 福岡	いわき市小川町福岡字山根	福岡多目的集会所	○	○		南部	
5	いわき市 大久	いわき市大久町大久字鶴房	アンモナイトセンター	○	○		南部	
6	いわき市 未統	いわき市久之浜町未統字代	未統駅	○	○		南部	
7	いわき市 上小川	いわき市小川町上小川中戸渡	戸渡公民館	○	○		南部	
8	いわき市 志田名	いわき市川前町下桶売字荻	志田名集会所	○	○		南部	
9	いわき市 小白井	いわき市川前町小白井字大小屋	小白井集会所	○	○		南部	
10	田村市 場々	田村市都路町古道字場々	場々多目的研修センター	○	○		西部	
11	田村市 古道	田村市都路町古道字北町	古道小学校	○	○		西部	
12	田村市 岩井沢	田村市都路町岩井沢字中作	岩井沢小学校	○	○		西部	
13	広野町 下浅見川	広野町大字下浅見川字築地	ふたば未来学園	○	○		中南部	
14	広野町 箒平	広野町大字上浅見川字下箒平	箒平地区集会所	○	○		中南部	
15	檜葉町 山田岡	檜葉町大字山田岡字仲丸	山田岡MP	○	○		中南部	
16	檜葉町 乙次郎	檜葉町大字大谷字乙次郎	乙次郎地区集会所	○	○		中南部	
17	檜葉町 井出	檜葉町大字井出字上ノ岡	ふたば支援学校	○	○		中南部	R7年4月から移設。
18	檜葉町 上繁岡	檜葉町大字上繁岡字中平	松館地区集会所	○	○		中南部	
19	富岡町 太田	富岡町大字上郡山字太田	慈眼寺	○	○		中南部	
20	富岡町 赤木	富岡町大字本岡字赤木	富岡町第五分団屯所	○	○		中南部	
21	富岡町 小良ヶ浜	富岡町大字小良ヶ浜字赤坂		○	○		中北部	
22	富岡町 夜の森北	富岡町字夜の森北	夜の森公園	○	○		中北部	
23	富岡町 上手岡	富岡町大字上手岡字杉内	富岡町消防団第四分団第一班屯所	○	○		中南部	
24	川内村 三ツ石	川内村大字下川内字三ツ石		○	○		南部	
25	川内村 貝ノ坂	川内村大字下川内字貝ノ坂	バス停	○	○		西部	
26	川内村 五枚沢	川内村大字下川内字五枚沢	五枚沢集会所	○	○		西部	
27	川内村 上川内	川内村大字上川内字沼畑	川内小中学園	○	○		西部	
28	大熊町 大川原	大熊町大字大川原字南平	大川原第一集会所	○	○		中南部	

No.	地点の名称	所在地	施設名等	年度当初に配置されている機器		東電 CC	ブロック	備考
				温度計	電子式線量計			
29	大熊町 旭ヶ丘	大熊町大字野上字旭ヶ丘	中屋敷多目的集会所	○	○		西部	
30	大熊町 野上	大熊町大字野上字諏訪	大野幼稚園	○	○		中北部	R7年8月から移設。敷地内西側へ50mほど移設。
31	大熊町 熊川	大熊町大字熊川字古館	大熊町消防団第四分団屯所	○	○		中北部	
32	大熊町 大野（大熊）	大熊町大字下野上字大野	大野MP	○	○	○	△	クロスチェック用線量計も配置する。 回収・配置は環境放射線センター職員が行う。
33	大熊町 夫沢	大熊町大字夫沢字大	夫沢MP	○	○		中北部	
34	大熊町 湯の神	大熊町大字野上字湯の神	野上一区公民館	○	○		中北部	
35	大熊町 長者原	大熊町大字夫沢字長者原		○	○	○	△	クロスチェック用線量計も配置する。 回収・配置は環境放射線センター職員が行う。
36	双葉町 清戸迫	双葉町大字新山字清戸迫	双葉南小学校	○	○		中北部	
37	双葉町 郡山	双葉町大字郡山字塚ノ腰	郡山公民館	○	○		中北部	
38	双葉町 長塚	双葉町大字長塚字越田	双葉北小学校	○	○		中北部	
39	浪江町 井手	浪江町大字井手字大高倉	老人憩の家やすらぎ荘	○	○		中北部	立ち入りに際し事前連絡が必要。
40	浪江町 請戸	浪江町大字請戸字持平	請戸小学校	○	○		北部	
41	浪江町 小野田	浪江町大字小野田字仲禅寺	大堀小学校	○	○		中北部	
42	浪江町 幾世橋	浪江町大字北幾世橋字植ノ畑	幾世橋小学校	○	○		北部	
43	浪江町 苅宿	浪江町大字苅宿字鹿畑	苅野小学校	○	○		北西部	
44	浪江町 昼曽根	浪江町大字昼曽根字昼曽根74	県道T字路電柱	○	○		北西部	R7年10月から移設。
45	浪江町 津島	浪江町大字下津島字富平	津島小学校	○	○		北西部	
46	葛尾村 大放	葛尾村大字落合字大放	大放多目的集会所	○	○		西部	
47	葛尾村 落合	葛尾村大字落合字落合	葛尾村役場	○	○		西部	
48	葛尾村 野行	葛尾村大字葛尾字野行	野行公民館	○	○		西部	
49	南相馬市 浦尻	南相馬市小高区浦尻	県道広野小高線	○	○		北部	
50	南相馬市 耳谷	南相馬市小高区耳谷字桃内	上耳谷公会堂	○	○		北部	
51	南相馬市 川房	南相馬市小高区川房字猿田	川房福祉館	○	○		北部	
52	南相馬市 関場	南相馬市小高区関場	小高小学校	○	○		北部	
53	南相馬市 高	南相馬市原町区高字板ノ上	高構造改善センター	○	○		北部	
54	南相馬市 大木戸	南相馬市原町区大木戸字西原	石神第二小学校	○	○		北部	
55	南相馬市 萱浜	南相馬市原町区萱浜字巢掛場	テクノアカデミー浜	○	○		北部	

No.	地点の名称	所在地	施設名等	年度当初に配置されている機器		東電 CC	ブロック	備考
				温度計	電子式線量計			
56	南相馬市 大原	南相馬市原町区大原字台畑	防火水槽敷地	○	○		北部	
57	南相馬市 川子	南相馬市鹿島区川子字森山	川子公会堂	○	○		北部	
58	飯舘村 蔵平	飯舘村蔵平字蔵平	蔵平多目的集会所	○	○		北西部	
59	飯舘村 長泥	飯舘村長泥字長泥	長泥コミュニティーセンター	○	○		北西部	
60	飯舘村 飯樋	飯舘村飯樋字町	飯樋小学校	○	○		北西部	
61	飯舘村 白石	飯舘村白石字田尻	白石小学校	○	○		北西部	
62	飯舘村 草野	飯舘村草野字大師堂	草野小学校	○	○		北西部	
63	川俣町 山木屋坂下	川俣町山木屋坂下	乙8区コミュニティー消防センター	○	○		北西部	
64	川俣町 山木屋	川俣町山木屋字大清水	山木屋駐在所	○	○		北西部	
65	南相馬市 鉛箱	南相馬市原町区萱浜字巣掛場	福島県環境放射線センター (南相馬市)	○	○			回収・配置は環境放射線センター職員が行う。
66	南相馬市 RPLD計測室	南相馬市原町区萱浜字巣掛場	福島県環境放射線センター (南相馬市)	○	○			回収・配置は環境放射線センター職員が行う。
67	南相馬市 線源保管庫(南相馬)	南相馬市原町区萱浜字巣掛場	福島県環境放射線センター (南相馬市)	○	○			回収・配置は環境放射線センター職員が行う。
68	大熊町 東電大野				○	○		回収・配置は東京電力(株)が行う。
69	大熊町 東電MP-1				○	○		回収・配置は東京電力(株)が行う。

電子式線量計 配置・回収業務 準備物確認表

配置・回収日：令和 年 月 日

ブロック名： 部

資機材	数量	チェック		備考
		出発	帰着	
シンチレーションサーベイメータ	1			
乾電池（単三）	8			
収納箱（小）の鍵（2500番）	1			
収納箱（大）の鍵	1			
ハサミ	1			
通行（立入）許可証	1			
測量ポール	1			
電子式線量計（予備機）	2			
Dシヤトル用表示器	1			
個人線量計	1			
デジタルカメラ	1			
電子式線量計調査票	1式			
電子式線量計測定地点台帳	1式			
電子式線量計による測定マニュアル	1式			
油性マジック（黒・赤）	各1			
ボールペン	2			
電卓	1			
ストップウォッチ	1			
ビニールテープ（赤・白）	各1			
養生テープ	1			
16号ポリ袋	必要数			
2号チャック袋	必要数			
アルコールティッシュ	1式			
ゴム手袋	必要数			
70Lポリ袋	1			

該当がない場合は/線を引く

※色付きは環境創造センター環境放射線センターから貸与される

作業者氏名：
管理技術者氏名：

班別電子式線量計調査票

北西部

配置・回収日：令和 年 月 日

No.	地点名	確認		回収時 空間線量率 (μ Sv/h)	回収時 温度 ($^{\circ}$ C)	収納箱の 異常の有無 (※1, 2)	周辺の 異常の有無 (※1, 3)	箱内 空間線量率 (μ Sv/h)	回収 確認	備考
		回収時刻	配置時刻							
43	浪江町 菊宿	:	:	.	.	有 無	有 無			
44	浪江町 昼曾根	:	:	.	.	有 無	有 無			
45	浪江町 津島	:	:	.	.	有 無	有 無			
58	飯舘村 蕨平	:	:	.	.	有 無	有 無			
59	飯舘村 長泥	:	:	.	.	有 無	有 無			
60	飯舘村 飯樋	:	:	.	.	有 無	有 無			
61	飯舘村 白石	:	:	.	.	有 無	有 無			
62	飯舘村 草野	:	:	.	.	有 無	有 無			
63	川俣町 山木屋坂下	:	:	.	.	有 無	有 無			
64	川俣町 山木屋	:	:	.	.	有 無	有 無			
	運搬時被ばく	/	/	/	/	/	有 無			

- ※1 異常があった場合には、その内容を備考欄に記入するとともに、写真等で記録すること。
 ※2 特に収納箱が木製である場合には、支柱（土壌接触部）、木箱上面および内部に著しい腐食が生じていないか確認すること。
 ※3 収納箱周辺で放射性廃棄物の保管、水みちによる土壌の著しい浸食など、被ばく条件への影響を及ぼすものがないか確認すること。

班分け確認者氏名	回収確認者氏名	回収後確認管理技術者氏名

班別電子式線量計調査票

北西部

サーベイメータ5回測定記録票

単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

No.	地点名	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	測定位置	平均	備考
43	浪江町 荻宿						周辺		
							箱内		
44	浪江町 昼曽根						周辺		
							箱内		
45	浪江町 津島						周辺		
							箱内		
58	飯舘村 蕨平						周辺		
							箱内		
59	飯舘村 長泥						周辺		
							箱内		
60	飯舘村 飯樋						周辺		
							箱内		
61	飯舘村 白石						周辺		
							箱内		
62	飯舘村 草野						周辺		
							箱内		
63	川俣町 山木屋坂下						周辺		
							箱内		
64	川俣町 山木屋						周辺		
							箱内		

《校正定数》

RANGE	校正定数
AUTO ($\mu\text{Sv/h}$)	
AUTO ($\mu\text{Gy/h}$)	

班別電子式線量計調査票

北部

配置・回収日：令和 年 月 日

No.	地点名	確認		回収時 空間線量率 (μ Sv/h)	回収時 温度 ($^{\circ}$ C)	収納箱の 異常の有無 (※1, 2)	周辺の 異常の有無 (※1, 3)	箱内 空間線量率 (μ Sv/h)	回収 確認	備考
		回収時刻	配置時刻							
40	浪江町 請戸	:	:	.	.	有 無	有 無			
42	浪江町 幾世橋	:	:	.	.	有 無	有 無			
49	南相馬市 浦尻	:	:	.	.	有 無	有 無			
50	南相馬市 耳谷	:	:	.	.	有 無	有 無			
51	南相馬市 川房	:	:	.	.	有 無	有 無			
52	南相馬市 関場	:	:	.	.	有 無	有 無			
53	南相馬市 高	:	:	.	.	有 無	有 無			
54	南相馬市 大木戸	:	:	.	.	有 無	有 無			
55	南相馬市 萱浜	:	:	.	.	有 無	有 無			
56	南相馬市 大原	:	:	.	.	有 無	有 無			
57	南相馬市 川子	:	:	.	.	有 無	有 無			

- ※1 異常があった場合には、その内容を備考欄に記入するとともに、写真等で記録すること。
 ※2 特に収納箱が木製である場合には、支柱（土壌接触部）、木箱上面および内部に著しい腐食が生じていないか確認すること。
 ※3 収納箱周辺で放射性廃棄物の保管、水みちによる土壌の著しい浸食など、被ばく条件への影響を及ぼすものがないか確認すること。

班分け確認者氏名	回収確認者氏名	回収後確認管理技術者氏名

班別電子式線量計調査票

北部

サーベイメータ5回測定記録票

単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

No.	地点名	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	測定位置	平均	備考
40	浪江町 請戸						周辺		
							箱内		
42	浪江町 幾世橋						周辺		
							箱内		
50	南相馬市 耳谷						周辺		
							箱内		
51	南相馬市 川房						周辺		
							箱内		
52	南相馬市 関場						周辺		
							箱内		
53	南相馬市 高						周辺		
							箱内		
54	南相馬市 大木戸						周辺		
							箱内		
55	南相馬市 萱浜						周辺		
							箱内		
56	南相馬市 大原						周辺		
							箱内		
57	南相馬市 川子						周辺		
							箱内		

《校正定数》

RANGE	校正定数
AUTO ($\mu\text{Sv/h}$)	
AUTO ($\mu\text{Gy/h}$)	

班別電子式線量計調査票

南部

配置・回収日：令和 年 月 日

No.	地点名	確認		回収時 空間線量率 (μ Sv/h)	回収時 温度 ($^{\circ}$ C)	収納箱の 異常の有無 (※1, 2)	周辺の 異常の有無 (※1, 3)	箱内 空間線量率 (μ Sv/h)	回収 確認	備考
		回収時刻	配置時刻							
1	いわき市 石森	:	:	.	.	有 無	有 無			
2	いわき市 四倉	:	:	.	.	有 無	有 無			
3	いわき市 大野	:	:	.	.	有 無	有 無			
4	いわき市 福岡	:	:	.	.	有 無	有 無			
5	いわき市 大久	:	:	.	.	有 無	有 無			
6	いわき市 未続	:	:	.	.	有 無	有 無			
7	いわき市 上小川	:	:	.	.	有 無	有 無			
8	いわき市 志田名	:	:	.	.	有 無	有 無			
9	いわき市 小白井	:	:	.	.	有 無	有 無			
24	川内村 三ツ石	:	:	.	.	有 無	有 無			

- ※1 異常があった場合には、その内容を備考欄に記入するとともに、写真等で記録すること。
 ※2 特に収納箱が木製である場合には、支柱（土壌接触部）、木箱上面および内部に著しい腐食が生じていないか確認すること。
 ※3 収納箱周辺で放射性廃棄物の保管、水みちによる土壌の著しい浸食など、被ばく条件への影響を及ぼすものがないか確認すること。

班分け確認者氏名	回収確認者氏名	回収後確認管理技術者氏名

班別電子式線量計調査票

南部

サーベイメータ5回測定記録票

単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

No.	地点名	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	測定位置	平均	備考
1	いわき市 石森						周辺		
							箱内		
2	いわき市 四倉						周辺		
							箱内		
3	いわき市 大野						周辺		
							箱内		
4	いわき市 福岡						周辺		
							箱内		
5	いわき市 大久						周辺		
							箱内		
6	いわき市 末続						周辺		
							箱内		
7	いわき市 上小川						周辺		
							箱内		
8	いわき市 志田名						周辺		
							箱内		
9	いわき市 小白井						周辺		
							箱内		
24	川内村 三ツ石						周辺		
							箱内		

《校正定数》

RANGE	校正定数
AUTO ($\mu\text{Sv/h}$)	
AUTO ($\mu\text{Gy/h}$)	

班別電子式線量計調査票

西部

配置・回収日：令和 年 月 日

No.	地点名	確認		回収時 空間線量率 (μ Sv/h)	回収時 温度 ($^{\circ}$ C)	収納箱の 異常の有無 (※1, 2)	周辺の 異常の有無 (※1, 3)	箱内 空間線量率 (μ Sv/h)	回収 確認	備考
		回収時刻	配置時刻							
10	田村市 場々	:	:	.	.	有 無	有 無			
11	田村市 古道	:	:	.	.	有 無	有 無			
12	田村市 岩井沢	:	:	.	.	有 無	有 無			
25	川内村 貝ノ坂	:	:	.	.	有 無	有 無			
26	川内村 五枚沢	:	:	.	.	有 無	有 無			
27	川内村 上川内	:	:	.	.	有 無	有 無			
29	大熊町 旭ヶ丘	:	:	.	.	有 無	有 無			
46	葛尾村 大放	:	:	.	.	有 無	有 無			
47	葛尾村 落合	:	:	.	.	有 無	有 無			
48	葛尾村 野行	:	:	.	.	有 無	有 無			

- ※1 異常があった場合には、その内容を備考欄に記入するとともに、写真等で記録すること。
 ※2 特に収納箱が木製である場合には、支柱（土壌接触部）、木箱上面および内部に著しい腐食が生じていないか確認すること。
 ※3 収納箱周辺で放射性廃棄物の保管、水みちによる土壌の著しい浸食など、被ばく条件への影響を及ぼすものがないか確認すること。

班分け確認者氏名	回収確認者氏名	回収後確認管理技術者氏名

班別電子式線量計調査票

西部

サーベイメータ5回測定記録票

単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

No.	地点名	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	測定位置	平均	備考
10	田村市 場々						周辺		
							箱内		
11	田村市 古道						周辺		
							箱内		
12	田村市 岩井沢						周辺		
							箱内		
25	川内村 貝ノ坂						周辺		
							箱内		
26	川内村 五枚沢						周辺		
							箱内		
27	川内村 上川内						周辺		
							箱内		
29	大熊町 旭ヶ丘						周辺		
							箱内		
46	葛尾村 大放						周辺		
							箱内		
47	葛尾村 落合						周辺		
							箱内		
48	葛尾村 野行						周辺		
							箱内		

《校正定数》

RANGE	校正定数
AUTO ($\mu\text{Sv/h}$)	
AUTO ($\mu\text{Gy/h}$)	

班別電子式線量計調査票

中北部

配置・回収日：令和 年 月 日

No.	地点名	確認		回収時 空間線量率 (μ Sv/h)	回収時 温度 ($^{\circ}$ C)	収納箱の 異常の有無 (※1, 2)	周辺の 異常の有無 (※1, 3)	箱内 空間線量率 (μ Sv/h)	回収 確認	備考
		回収時刻	配置時刻							
21	富岡町 小良ヶ浜	:	:	.	.	有 無	有 無			
22	富岡町 夜の森北	:	:	.	.	有 無	有 無			
30	大熊町 野上	:	:	.	.	有 無	有 無			
31	大熊町 熊川	:	:	.	.	有 無	有 無			
33	大熊町 夫沢	:	:	.	.	有 無	有 無			
34	大熊町 湯の神	:	:	.	.	有 無	有 無			
36	双葉町 清戸迫	:	:	.	.	有 無	有 無			
37	双葉町 郡山	:	:	.	.	有 無	有 無			
38	双葉町 長塚	:	:	.	.	有 無	有 無			
39	浪江町 井手	:	:	.	.	有 無	有 無			
41	浪江町 小野田	:	:	.	.	有 無	有 無			

- ※1 異常があった場合には、その内容を備考欄に記入するとともに、写真等で記録すること。
 2 特に収納箱が木製である場合には、支柱（土壌接触部）、木箱上面および内部に著しい腐食が生じていないか確認すること。
 3 収納箱周辺で放射性廃棄物の保管、水みちによる土壌の著しい浸食など、被ばく条件への影響を及ぼすものがないか確認すること。

班分け確認者氏名	回収確認者氏名	回収後確認管理技術者氏名

班別電子式線量計調査票

中北部

サーベイメータ5回測定記録票

単位 (μ Sv/h)

No.	地点名	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	測定位置	平均	備考
21	富岡町 小良ヶ浜						周辺		
							箱内		
22	富岡町 夜の森北						周辺		
							箱内		
30	大熊町 野上						周辺		
							箱内		
31	大熊町 熊川						周辺		
							箱内		
33	大熊町 夫沢						周辺		
							箱内		
34	大熊町 湯の神						周辺		
							箱内		
36	双葉町 清戸迫						周辺		
							箱内		
37	双葉町 郡山						周辺		
							箱内		
38	双葉町 長塚						周辺		
							箱内		
39	浪江町 井手						周辺		
							箱内		
41	浪江町 小野田						周辺		
							箱内		

《校正定数》

RANGE	校正定数
AUTO (μ Sv/h)	
AUTO (μ Gy/h)	

班別電子式線量計調査票

中南部

配置・回収日：令和 年 月 日

No.	地点名	確認		回収時 空間線量率 (μ Sv/h)	回収時 温度 ($^{\circ}$ C)	収納箱の 異常の有無 (※1, 2)	周辺の 異常の有無 (※1, 3)	箱内 空間線量率 (μ Sv/h)	回収 確認	備考
		回収時刻	配置時刻							
13	広野町 下浅見川	:	:	.	.	有 無	有 無			
14	広野町 箒平	:	:	.	.	有 無	有 無			
15	檜葉町 山田岡	:	:	.	.	有 無	有 無			
16	檜葉町 乙次郎	:	:	.	.	有 無	有 無			
17	檜葉町 井出	:	:	.	.	有 無	有 無			
18	檜葉町 上繁岡	:	:	.	.	有 無	有 無			
19	富岡町 太田	:	:	.	.	有 無	有 無			
20	富岡町 赤木	:	:	.	.	有 無	有 無			
23	富岡町 上手岡	:	:	.	.	有 無	有 無			
28	大熊町 大川原	:	:	.	.	有 無	有 無			

- ※1 異常があった場合には、その内容を備考欄に記入するとともに、写真等で記録すること。
 ※2 特に収納箱が木製である場合には、支柱（土壌接触部）、木箱上面および内部に著しい腐食が生じていないか確認すること。
 ※3 収納箱周辺で放射性廃棄物の保管、水みちによる土壌の著しい浸食など、被ばく条件への影響を及ぼすものがないか確認すること。

班分け確認者氏名	回収確認者氏名	回収後確認管理技術者氏名

班別電子式線量計調査票

中南部

サーベイメータ5回測定記録票

単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

No.	地点名	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	測定位置	平均	備考
13	広野町 下浅見川						周辺		
							箱内		
14	広野町 箒平						周辺		
							箱内		
15	檜葉町 山田岡						周辺		
							箱内		
16	檜葉町 乙次郎						周辺		
							箱内		
17	檜葉町 井出						周辺		
							箱内		
18	檜葉町 上繁岡						周辺		
							箱内		
19	富岡町 太田						周辺		
							箱内		
20	富岡町 赤木						周辺		
							箱内		
23	富岡町 上手岡						周辺		
							箱内		
28	大熊町 大川原						周辺		
							箱内		

《校正定数》

RANGE	校正定数
AUTO ($\mu\text{Sv/h}$)	
AUTO ($\mu\text{Gy/h}$)	